

## 『DIVE！！1前宙返り3回半抱え型』（2000年）

森 絵都／著 講談社

知季は、練習の度に高所の恐怖や失敗した時の痛みを思っ尻込みするような、パツとしない飛び込みの選手でした。そんな知季はある日、新たにきたコーチから「オリンピック」を目指せる選手だ、と言われます。高さ十メートルからの飛翔、時速六十キロの急降下、わずか一・四秒の空中演技。その一瞬のための沢山の努力と、熱い思い。最後まで読むと、このお話の世界にもっと浸っていたいと思うはずです。DIVE！！は全4巻なので、気になる方は是非続きも読んでみてくださいね。



## 『チームふたり』（2007年）

吉野 万理子／作 宮尾 和孝／絵  
学習研究社

大地は卓球部のキャプテンだ。六年にとっては引退試合も兼ねている市大会、ダブルスは息の合う誠と組むものと思っていたが、先生が発表したのは五年生の純と組むことだった。納得できない大地に、女子部の分裂や父親のリストラなど、深刻な問題が降りかかる。「チームふたり」と言って父を支える母のすがたに気持ちも落ち着き、大地は純との特訓を始める。

その後の話は『チームあした』『チームひとり』で読むことができます。



## 『ウォーターボーイズ』（2001年）

矢口 史靖／著 角川書店

唯野男子高校水泳部は、新任の先生が顧問になったことから、「シンクロ」に取り組む部活になってしまった！一生懸命部活に打ち込んで成長していく、主人公・鈴木と仲間たちの姿を描きます。たくさん笑えて少し泣ける、青春ストーリーです。映画やドラマにもなった大人気作品の書籍版で、各ページの左下に、ちょっとした仕掛けがあります。残念ながらオリンピックにはまだ男子のシンクロ種目は採用されていませんが、国際大会は2014年から出場できるようになりました。オリンピックにウォーターボーイズが出場する日も近いかもしれません。



## 『キング』（2003年）

堂場 瞬一／著 実業之日本社

代表選考レースの五輪記念マラソンに、大学時代には同じ釜の飯を食っていた3人が集まった。天才と呼ばれながらも故障続きで「ガラスのエース」とよばれる須田。陸連を正面から批判し、選手生命の坂道を転がり落ちていった武藤。棄権はしないが常に2位か3位の青山。選考レース前の青山に菌田という謎の男からドーピングをすすめる電話がかかってき、青山の心は揺れ動く。



## 『リバウンド』（2007年）

E・ウォルターズ／作 小梨 直／訳  
深川 直美／画 福音館書店

夏休みが終わり、八年生（中学二年）になったショーン。バスケットボールチームのトライアウトに参加し、今年こそ選手になろうと練習に励んでいる。悪友スコットが何かと絡んでくる中、転校生のデーヴィットと出会う。デーヴィットは一年前に事故に遭い、車椅子生活を強いられているが、それまでは将来有望なバスケットボール選手だったのだ。様々な葛藤を乗り越えながら二人は友情を深めていく。



## 『サヴァイヴ』（2011年）

近藤 史恵／著 新潮社

自転車ロードレースを舞台にした短編集。自転車レースは転倒すれば死につながる過酷な競技だ。ルールも独特で、チームで走るが、ゴールを目指すのはエースただ一人。他のメンバーはアシストと呼ばれ、風除けとなったり、水や食料を渡したりしてエースをサポートし、力尽きて脱落していく。そんな競技でプロとして生きていく男たちの物語である。死の恐怖と共に走る伊庭。ゴールを目指さないアシスト・赤城の複雑な気持ち。仲間を犠牲にして優勝を目指すエース・岩尾の決意。それぞれのレースへの思いが読める。

